

川合玉堂展

没後50年

2007年9月8日(土)～11月11日(日)

山種美術館
YAMATANE MUSEUM OF ART



KAWAI GYOKUDO



▲川合玉堂「石捕花」、1930(昭和5年) ▲川合玉堂「早乙女」、1945(昭和20年)

川合玉堂展

没後50年

50th Memorial:
Tribute to KAWAI GYOKUDO, the Artist of Japanese Nostalgia

日本の自然や風物を、詩情豊かに表現して人気の高い川合玉堂の作品を、没後50年の節目に展示いたします。

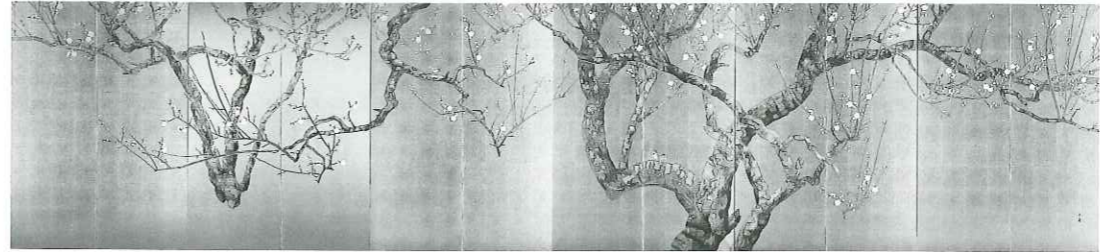
50年前、玉堂の訃報に接した鍋木清方は、「日本の自然が、日本の山河がなくなってしまったように思う」と嘆きました。玉堂が描いた穏やかな日本の風景は、私たち日本人の多くが、どこかに置き忘れてきた日本の心を思いおこさせてくれます。

本展では、京都で望月玉泉や幸野樸嶺に円山・四条派を学んでいた頃の作品、橋本雅邦に師事した頃の狩野派の影響の色濃い作品、琳派や南画等さまざまな研究の後、晩年に至るまでを展覧いたします。情趣豊かな風景画に加え、そこに生活する人々や動物を描いた作品、また書など、これまであまり紹介されていない作品も含め、当館所蔵作品の中から選りすぐってご紹介いたします。また、師である望月玉泉、橋本雅邦、弟子の児玉希望、孫弟子の奥田元宋、佐藤太清ら、ゆかりの作家たちの作品を含む約60点を展示いたします。

この度、玉堂美術館のご協力を得て、6曲1双の金屏風に描かれた《紅白梅》を、9月8日(土)から30日(日)まで特別展示いたします。この機会にぜひ皆様お誘い合わせのうえお楽しみいただき、川合玉堂の魅力を再発見していただければ幸いです。

特別出品作品:

川合玉堂《紅白梅》、1919(大正8)年、玉堂美術館蔵 展示期間:9月8日(土)～9月30日(日)



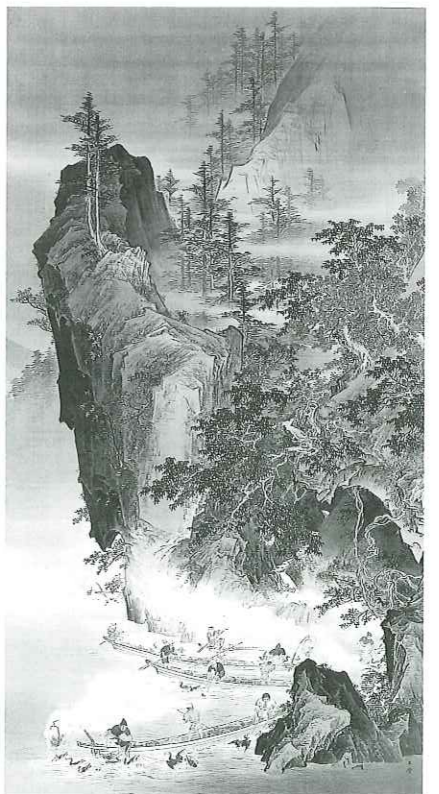
川合玉堂《虎》、1943(昭和18)年頃



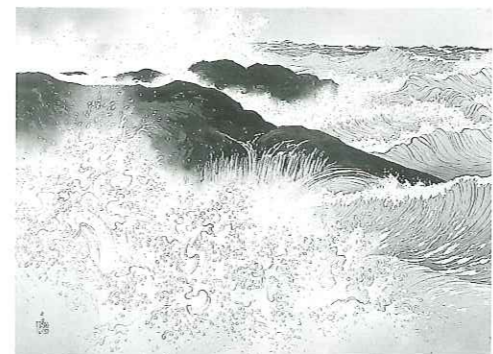
川合玉堂《湖畔暮雪》、1938(昭和13)年



川合玉堂《猿》、1955-56(昭和30-31)年頃



川合玉堂《鶴飼》、1895(明治28)年



川合玉堂《荒海》、1944(昭和19)年



山種美術館
YAMATANE MUSEUM OF ART

次回展覧会:

秋の彩り—小林古径・福田平八郎・東山魁夷・安井曾太郎— 11月17日(土)～12月24日(月・祝)

◎主催・会場:山種美術館 ◎開館時間:10時～17時(入館は16時30分まで) ◎休館日:月曜日(祝日の場合翌火曜日) ◎入館料:一般800(600)円・大高生600(500)円・中小生無料
*()内は20名以上の団体料金 *障害者手帳持参者は600円 ◎交通機関:東京メトロ東西線/半蔵門線・都営地下鉄新宿線「九段下」駅2番出口より徒歩12分/半蔵門線「半蔵門」駅5番出口より徒歩10分 ◎問合せ先:〒102-0075 東京都千代田区三番町2 三番町KSビル1階 TEL 03-3239-5911 ◎ホームページ: <http://www.yamatane-museum.or.jp/>